

○情報公開に係る法人文書の開示の実施の方法及び手数料に関する規則

(平成 15 年 10 月 1 日平成 15 年達第 91 号)

**改正** 平成 17 年 3 月 31 日平成 17 年達第 51 号 平成 18 年 3 月 29 日平成 18 年達第 44 号  
平成 25 年 10 月 31 日平成 25 年規則第 149 号 平成 27 年 3 月 25 日平成 27 年規則第 164 号  
平成 28 年 3 月 30 日平成 28 年規則第 113 号 令和 6 年 3 月 25 日令和 6 年規則第 41 号

(目的)

第 1 条 この規則は、独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律(平成 13 年法律第 140 号。以下「法」という。)に基づく国立研究開発法人科学技術振興機構(以下「機構」という。)の法人文書の開示の実施の方法及び法人文書の開示請求及び開示実施に係る手数料及び法人文書写しの送付に要する費用に関し必要な事項を定めることを目的とする。

(定義)

第 2 条 この規則において用いる用語であつて、法、行政機関の保有する情報の公開に関する法律施行令(平成 12 年政令第 41 号。以下「施行令」という。)及び独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律施行令(平成 14 年政令第 199 号)において使用する用語と同一のものは、これと同一の意義において使用するものとする。

(法人文書の開示の実施の方法)

第 3 条 次の各号に掲げる文書又は図画の閲覧の方法は、それぞれ当該各号に定めるものを閲覧することとする。

- (1) 文書又は図画(次号から第 4 号まで又は第 5 項に該当するものを除く。)当該文書又は図画(法第 15 条第 1 項ただし書の規定が適用される場合にあつては、次項第 1 号アに定めるもの)
- (2) マイクロフィルム 当該マイクロフィルムを専用機器により映写したもの。ただし、これにより難しい場合にあつては、当該マイクロフィルムを日本工業規格 A 列 1 番(以下「A1 判」という。)以下の大きさの用紙に印刷したもの
- (3) 写真フィルム 当該写真フィルムを印画紙(縦 89 ミリメートル、横 127 ミリメートルのもの又は縦 203 ミリメートル、横 254 ミリメートルのものに限る。以下同じ。)に印画したもの
- (4) スライド(第 6 項に規定する場合におけるものを除く。次項第 4 号において同じ。)当該スライドを専用機器により映写したもの

2 次の各号に掲げる文書又は図画の法第 15 条第 1 項の規定による開示の実施の方法は、それぞれ当該各号に定める方法とする。

- (1) 文書又は図画(次号から第 4 号まで又は第 5 項に該当するものを除く。)次に掲げる方法(イ及びウに掲げる方法にあつては当該文書又は図画の保存に支障を生ずるおそれがなく、かつ、機構がその保有する処理装置及びプログラム(電子計算機に対する指令であつて、一の結果を得ることができるように組み合わせられたものをいう。以下同じ。)により当該文書又は図画の開示を実施することができる場合に限る。)

ア 当該文書又は図画を複写機により日本工業規格 A 列 3 番(以下「A3 判」という。)以下の大きさの用紙に複写したものの交付(イに掲げる方法に該当するものを除く。)。ただし、これにより難しい場合にあつては、当該文書若しくは図画を複写機により A1

判若しくは日本工業規格 A 列 2 番(以下「A2 判」という。)の用紙に複写したものの交付(イに掲げる方法に該当するものを除く。)又は当該文書若しくは図画を撮影した写真フィルムを印画紙に印画したものの交付

イ 当該文書又は図画を複写機により用紙にカラーで複写したものの交付

ウ 当該文書又は図画をスキャナにより読み取ってできた電磁的記録を光ディスク(日本産業規格 X0606 及び X6281 並びに X6241 に適合する直径 120 ミリメートルの光ディスクの再生装置で再生することが可能なものに限る。以下、日本産業規格 X0606 及び X6281 に適合するものを「CD-R」、日本工業規格 X6241 に適合するものを「DVD-R」という。)に複写したものの交付

(2) マイクロフィルム 当該マイクロフィルムを日本工業規格 A 列 4 番(以下「A4 判」という。)の用紙に印刷したものの交付。ただし、これにより難しい場合であっては、A1 判、A2 判又は A3 判の用紙に印刷したものの交付

(3) 写真フィルム 当該写真フィルムを印画紙に印画したものの交付

(4) スライド 当該スライドを印画紙に印画したものの交付

3 次の各号に掲げる電磁的記録についての法第 15 条第 2 項に規定する開示の実施の方法は、それぞれ当該各号に定める方法とする。

(1) 録音テープ(第 6 項に規定する場合におけるものを除く。以下この号において同じ。)  
又は録音ディスク 次に掲げる方法

ア 当該録音テープ又は録音ディスクを専用機器により再生したものの聴取

イ 当該録音テープ又は録音ディスクを録音カセットテープ(日本工業規格 C5568 に適合する記録時間 120 分のものに限る。別表第 1 の 5 の項イにおいて同じ。)に複写したものの交付

(2) ビデオテープ又はビデオディスク 次に掲げる方法

ア 当該ビデオテープ又はビデオディスクを専用機器により再生したものの視聴

イ 当該ビデオテープ又はビデオディスクをビデオカセットテープ(日本工業規格 C5581 に適合する記録時間 120 分のものに限る。以下同じ。)に複写したものの交付

(3) 電磁的記録(前 2 号又は第 5 項に該当するものを除く。) 次に掲げる方法であって、機構がその保有する処理装置及びプログラムにより行うことができるもの

ア 当該電磁的記録を A3 判以下の大きさの用紙に出力したものの閲覧

イ 当該電磁的記録を専用機器(開示を受ける者の閲覧又は視聴の用に供するために備え付けられているものに限る。別表第 1 の 7 の項イにおいて同じ。)により再生したものの閲覧又は視聴

ウ 当該電磁的記録を A3 判以下の大きさの用紙に出力したものの交付(エに掲げる方法に該当するものを除く。)

エ 当該電磁的記録を A3 判以下の大きさの用紙にカラーで出力したものの交付

オ 当該電磁的記録を CD-R 及び DVD-R に複写したものの交付

カ 当該電磁的記録が、CD-R 及び DVD-R 等に複写できない特性を持つものの場合、電子的処理組織を使用して開示を受ける者の使用に係る電子計算機に備えられたファイルに複写させる方法による交付

- 4 電磁的記録の種別又は量により、前項各号の方法により開示することが困難である場合の当該電磁的記録の開示の方法は、施行令において定める方法を参酌してそのつど定める。
- 5 映画フィルムの開示の実施の方法は、次に掲げる方法とする。
  - (1) 当該映画フィルムを専用機器により映写したものの視聴
  - (2) 当該映画フィルムをビデオカセットテープに複写したものの交付
- 6 スライド及び当該スライドの内容に関する音声を記録した録音テープを同時に視聴する場合における開示の実施の方法は、次に掲げる方法とする。
  - (1) 当該スライド及び当該録音テープを専用機器により再生したものの視聴
  - (2) 当該スライド及び当該録音テープをビデオカセットテープに複写したものの交付  
(手数料の額等)

第4条 法第17条第1項の手数料の額は、次の各号に掲げる手数料の区分に応じ、それぞれ当該各号に定める額とする。

- (1) 開示請求に係る手数料(以下「開示請求手数料」という。)  
開示請求に係る法人文書1件につき300円
  - (2) 開示実施手数料  
開示を受ける法人文書1件につき、別表第1の左欄に掲げる法人文書の種別ごとに、同表の中欄に掲げる開示の実施の方法に応じ、それぞれ同表の右欄に定める額(複数の実施の方法により開示を受ける場合にあつてはその合算額。以下「基本額」という。)。ただし、基本額(法第15条第5項の規定により更に開示を受ける場合にあつては、当該開示を受ける場合の基本額に既に開示の実施を求めた際の基本額を加えた額)が300円に達するまでは無料とし、300円を超えるとき(同項の規定により更に開示を受ける場合であつて既に開示の実施を求めた際の基本額が300円を超えるときは除く。)は当該基本額から300円を減じた額とする。
- 2 開示請求者が次の各号のいずれかに該当する複数の法人文書の開示請求を一の開示請求書によって行うときは、前項第1号の規定の適用については、当該複数の法人文書を1件の法人文書とみなし、かつ、当該複数の法人文書である法人文書の開示を受ける場合の前項第2号ただし書の規定の適用については、当該複数の法人文書である法人文書に係る基本額に先に開示の実施を求めた当該複数の法人文書である他の法人文書に係る基本額を順次加えた額を基本額とみなす。
    - (1) 一の法人文書ファイル(能率的な事務又は事業の処理及び法人文書の適切な保存の目的を達成するためにまとめられた、相互に密接な関連を有する法人文書(保存期間が1年以上のものであつて、当該保存期間を同じくすることが適當であるものに限る。))の集合物をいう。)にまとめられた複数の法人文書
    - (2) 前号に掲げるもののほか、相互に密接な関連を有する複数の法人文書
  - 3 開示請求手数料又は開示実施手数料は、現金又は定額小為替(普通為替)で納付しなければならない。
  - 4 開示請求手数料又は開示実施手数料は、現金、定額小為替若しくは現金振込後の口座振込書の提出又は現金、定額小為替若しくは現金振込後の口座振込書の郵送により納付できる。
  - 5 法人文書の開示を受ける者は、開示実施手数料のほか送料を納付して、法人文書の写しの送付を求めることができる。この場合、当該送料は、現金、切手及び定額小為替の授受、

現金振込後の口座振込書の提出又は現金、切手、口座振込書及び定額小為替(普通為替)の郵送により納付できる。

(手数料の減免)

第5条 法人文書の開示を受ける者が経済的困難により開示実施手数料を納付する資力がないと認めるときは、開示請求1件につき2000円を限度として、開示実施手数料を減額し、又は免除することができる。

2 前項の規定による開示実施手数料の減額又は免除を受けようとする者は、法第15条第3項又は第5項の規定による申出を行う際に、当該減額又は免除を求める額及びその理由を記載した情報公開に係る事務分担及び事務処理規則(平成14年達第67号)に規定する申請書を提出しなければならない。

3 前項の申請書には、申請人が生活保護法(昭和25年法律第144号)第11条第1項各号に掲げる扶助を受けていることを理由とする場合にあっては当該扶助を受けていることを証明する書面を、その他事実を理由とする場合にあっては当該事実を証明する書面を添付しなければならない。

4 第1項に規定するもののほか、開示決定に係る法人文書を一定の開示の実施の方法により一般に周知させることが適当であると認めるときは、当該開示の実施の方法に係る開示実施手数料を減額し、又は免除することができる。

附 則

この達は、平成15年10月1日から施行する。

附 則(平成17年3月31日平成17年達第51号)

この達は、平成17年4月1日から施行する。

附 則(平成18年3月29日平成18年達第44号)

この達は、平成18年4月1日から施行する。

附 則(平成25年10月31日平成25年規則第149号)

この規則は、平成25年11月1日から施行する。

附 則(平成27年3月25日平成27年規則第164号)

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則(平成28年3月30日平成28年規則第113号)

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則(令和6年3月25日令和6年規則第41号)

この規則は、令和6年4月1日から施行する。

別表第1(第3及び第4条関係)

法人文書の種別	開示の実施の方法	開示実施手数料の額
1 文書又は図画(2項から4項までに該当するものを除く。)	ア 閲覧	100枚までごとにつき100円
	イ 撮影した写真フィルムを印画紙に印画したものの閲覧	1枚につき100円に12枚までごとに760円を加えた額
	ウ 複写機により複写したものの交付(エに掲げる方法に該当するものを除く。)	用紙1枚につき10円(A2判については40円、A1判については80円)
	エ 複写機により用紙にカラーで複写したものの交付	用紙1枚につき20円(A2判については140円、A1判については180円)
	オ 撮影した写真フィルムを印画紙に印画したものの交付	1枚につき120円(縦203ミリメートル、横254ミリメートルのものについては、520円)に12枚までごとに760円を加えた額
	カ スキャナにより読み取ってできた電磁的記録をCD-Rに複写したものの交付	1枚につき100円に当該文書又は図画1枚ごとに10円を加えた額
	キ スキャナにより読み取ってできた電磁的記録をDVD-Rに複写したものの交付	1枚につき120円に当該文書又は図画1枚ごとに10円を加えた額
2 マイクロフィルム	ア 用紙に印刷したものの閲覧	用紙1枚につき10円
	イ 専用機器により映写したものの閲覧	1巻につき290円
	ウ 用紙に印刷したものの交付	用紙1枚につき80円(A3判については140円、A2判については370円、A1判については690円)
3 写真フィルム	ア 印画紙に印画したものの閲覧	1枚につき10円
	イ 印画紙に印画したものの交付	1枚につき30円(縦203ミリメートル、横254ミリメートルのものについては、430円)
4 スライド(9項に該当するものを除く。)	ア 専用機器により映写したものの閲覧	1巻につき390円
	イ 印画紙に印画したものの交付	1枚につき100円(縦203ミリメートル、横254ミリメートルのものについては、1300円)
5 録音テープ(9項に該当するものを除く。)又は録音ディスク	ア 専用機器により再生したものの聴取	1巻につき290円
	イ 録音カセットテープに複写したものの交付	1巻につき430円
6 ビデオテープ又はビデオディスク	ア 専用機器により再生したものの視聴	1巻につき290円
	イ ビデオカセットテー	1巻につき580円

	ブに複写したものの交付	
7 電磁的記録 (5項、6項又は8項に該当するものを除く。)	ア 用紙に出力したものの閲覧	用紙100枚までごとにつき、200円
	イ 専用機器により再生したものの閲覧又は視聴	1ファイルにつき400円
	ウ 用紙に出力したものの交付(エに掲げる方法に該当するものを除く。)	用紙1枚につき10円
	エ 用紙にカラーで出力したものの交付	用紙1枚につき20円
	オ CD-Rに複写したものの交付	1枚につき100円に1ファイルごとに210円を加えた額
	カ DVD-Rに複写したものの交付	1枚につき120円に1ファイルごとに210円を加えた額
	キ 電子的処理組織を使用して開示を受ける者の使用に係る電子計算機に備えられたファイルに複写させる方法による交付	1ファイルにつき210円
8 映画フィルム	ア 専用機器により映写したものの視聴	1巻につき390円
	イ ビデオカセットテープに複写したものの交付	6,800円(16ミリメートル映画フィルムについては13,000円、35ミリメートル映画フィルムについては10,100円)に記録時間10分までごとに2,750円(16ミリメートル映画フィルムについては3,200円、35ミリメートル映画フィルムについては2,650円)を加えた額
9 スライド及び録音テープ	ア 専用機器により再生したものの視聴	1巻につき680円
	イ ビデオカセットテープに複写したものの交付	5,200円(スライド20枚を超える場合にあっては、5,200円にその超える枚数1枚につき110円を加えた額)

備考

- 1 1項ウ、2項ウ又は7項ウ若しくはエの場合において、両面印刷の用紙を用いるときは、片面を1枚として金額を算定する。
- 2 この表に定める開示の実施の方法により難しい場合の開示の実施の方法及び開示実施手数料の額は、施行令に定める開示の実施の方法及び開示実施手数料の額を参酌してそのつど定める。